2023年9月29日(金)

VOL.8 第77号

横浜市テニス協会ニュース

YOKOHAMA TENNIS ASSOCIATION NEWS

発行 横浜市テニス協会 総務部 〒231-0028 横浜市中区翁町1-5-5 関内スクエアービル306号 TEL045-663-0557 FAX045-663-0558

第77回 横浜市民スポーツ大会テニス競技ダブルス

第77回横浜市民ダブルス大会が令和5年4月1日から5月28日までの土・日・祝で開催されました。参加は18種目昨年比＋16組の634組でした。

春の気候で降雨や強風の中でのゲームをお願いしましたが、文句を言わずに熱く素晴らしいプレーを続けてくれました。

一般男子の神谷・及川組は予選勝ち上がりからの優勝、一般女子の石井・大津組は念願の初優勝、共に素晴らし結果でおめでとうございます。一般も年齢別もレベルが拮抗して接戦の連続でした。勝利への強い気持ち、少しの幸運不運が勝敗を分けたように思いました。勝者の方は更なるレベルアップを、敗者の方も今回は相手に少し分があったと思って、落胆しないで次回に向けて楽しくテニスをしてください。

新型コロナもようやく終息が見え、参加者が増えることを期待しています。そして選手の皆様が気分よく力を発揮できるように運営していきたいと考えています。

最後に運営に携わっていただいた理事の皆様、審判員の皆様、事務局の皆様にお礼申し上げます。

（市民ダブルス大会競技委員長　宮内）

一般男子の部 優勝　どこかでお会いしましたら練習誘ってください

神谷涼太・及川生来（在住・在勤(株)リクルート）

まず始めに、本大会を運営してくださった横浜市テニス協会、関係者の皆様に深く御礼申し上げます。

予選から決勝まで9試合、悪天候の日や、3セットマッチを1日2試合と普段全く練習しない僕らにとっては、とてもハードで日々の練習不足を実感しました。是非皆様、どこかでお会いしましたら練習誘ってください。いつまでも学生の頃のプレーが出来ると思っている訳ではないのですが、現実とのギャップを中々受け入れられず、思い通りのプレーが出来ない事も多かったですが（主に及川君です）、試合の中で修正調整してきながら楽しく、時に厳しくプレーできたと思います。

優勝したいな！と思い本大会に出場しましたが、何とか優勝することが出来たので嬉しいです。応援してくださった皆様ありがとうございました。特に毎試合応援に駆けつけてくれた、マネージャーの中山さんありがとうございました。

（神谷、及川 記）

〈一般男子〉神谷・及川、長岐・吉澤の各選手

一般女子の部 優勝　涙が出るほど嬉しいご褒美

石井真由美・大津麻友（在住）

本競技を開催、運営してくださいました協会関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

12年前、初めてこの大会に出場し憧れの本戦出場を果たしたものの初戦で敗退。その後大病を患って一度はテニスを諦めましたが、治療の翌年ペアの大津さんが決勝のステージまで連れていってくれました。その日から、一般優勝が私の大きな目標となりました。そして昨年、自身の実力不足で準優勝。今年こそ！という想いが強かっただけに今回の優勝は涙が出るほど嬉しいご褒美でした。

大津さんとはテニス以外でも仲良くさせてもらい、そういった信頼関係が、競った時息のあったペアリングに繋がり、彼女の素晴らしい技術が私の実力以上を引き出してくれました！　また、普段から仲良く、テニスでは鍛えてくれる大切な友人達、応援してくれる家族、その力が今回の結果へ導いてくれたと思います。本当に感謝しかありません。沢山の恩恵を与えてくれたテニス！　いくつになっても楽しんでゆきたいです。　（石井 記）

〈一般女子〉石井・大津、梶原・串間の各選手

男子35歳以上の部 優勝　お互いを信じて最後までプレー

鈴木翔・正木譲（ASP港南台TS）

まず初めに大会を開催していただいた横浜市テニス協会役員、関係者の皆様に御礼申し上げます。次に今の環境を与えてくださっているアトラクとスポーツプランニングの佐藤社長はじめ、スタッフの皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

今大会は同じ職場で働いている正木さんとのダブルスだったのですが、実はあまり組んだ事がなくほぼぶっつけ本番でした。

準決勝から競った試合になり、強気の姿勢を貫かないと危ないシーンもありました。ただ組んで出場する限りは、悪い時も良い時も必ず信用するというダブルスにおいて、大切なものをお互いに持てたところが、最後まで強気の姿勢を保てた要因だと思います。ダブルスは一人では出来ませんし、どちらかが悪い時もあると思いますがお互いを信じて最後までプレー出来たことは良い経験になりました。

（鈴木 記）

〈男子35歳以上〉鈴木・正木、加賀美・程島の各選手

男子40歳以上の部 優勝　試合ができる喜び

池田孝郎・河村一成（希望が丘TC・ラック港南台TG）

２年前に膝のケガをしてから試合に出場できない悔しさと、思い通りに走れずに落ち込む日々でした。

去年末から練習、試合と段階的に上げていき、リハビリの甲斐もあって少しずつ本来の動きを取り戻せる様になり、ケガをしてから３年目でようやく、この名誉ある横浜市民大会に戻ることができました。

初戦から決勝まで大変な試合ばかりでしたが、最後までやりきることができました。

ペアの河村君には、いつもより負担をかけましたが「いつも通りやりましょう」の言葉で励ましてくれていました。また、こうしてコートに立って試合ができたことが、本当に嬉しく思います。ここまでできる様になったのも、希望が丘テニスクラブ・スクールのスタッフ、家族の支えがあったからです。最後になりますが、本大会を運営して頂きました、横浜市テニス協会の皆様に厚く御礼申し上げます。

（池田 記）

〈男子40歳以上〉池田・河村、奥田・阿部の各選手

男子45歳以上の部 優勝　念願の優勝

水野光太郎・九里孝之（在勤）

はじめに本大会の運営にご尽力いただきました、横浜市テニス協会関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

昨年よりペアを組んだ水野くんとのダブルスは、真剣な中にもプレーを楽しめる心地よいダブルスができていると思います。

数々の強いチームとも競い勝利できたのは、水野くんのおかげです。また、普段から練習にお付き合いいただいている、数多くの仲間の皆様に感謝いたします。会場に足を運んで声援を送ってくださった皆様、当日会場には来る事はできずとも応援してくださった皆様には、たくさんの力をいただきました。そして10年振りに応援に来てくれた父、いつも支えてくれる妻には感謝しています。これからも皆様よろしくお願いいたします。　（九里 記）

〈男子45歳以上〉水野・九里、小山・鈴木の各選手

男子50歳以上の部 優勝　念願のタイトルを獲得

仙田浩一郎・中本謙（在勤）

昨年はQFで優勝ペアに後一歩のところで敗退し、今年こそ！ と臨んだ大会で優勝。

私もペアの中本君もこれまで準優勝が最高戦績だったので、念願のタイトルを獲得できて最高に嬉しいです。

土砂降りの試合、雨中断後の流れをモノにした試合、セットダウンから逆転した試合など、苦しい展開を乗り越えて、決勝は気合十分で勝ち切ることができました！ 来年もまた今年のようないい試合ができるよう頑張りたいと思います。

最後に大会運営いただいた関係者の皆様、対戦した皆様、いつも会場で楽しく盛り上げてくれる仲間たちに感謝します。ありがとうございました！

（仙田 記）

〈男子50歳以上〉仙田・中本、宇多・役川の各選手

男子55歳以上の部 優勝　ペアと横浜市民大会で3回目の優勝

大門保幸・柏木昇一（東急あざみ野TG・亀の甲山TC）

まず、始めに本大会を運営して下さった大会関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

ペアの大門さんとは、横浜市民大会で３回目の優勝を飾ることが出来て大変嬉しく思います。毎年の大会を通じてベテランに成ればなるほど、実力差が拮抗し50代以降はなかなか勝たせて貰えなかったのですが、今回の優勝で様々な条件（風・ルール変更・プレッシャー・体調不良・気持ちで負けたぁ）をクリアしないと優勝に辿り着けないことに気付かされました。また、優勝したい!!の気持ちが強過ぎても、逆に力みや重圧になるので最後は、ペアと楽しんでテニスが出来れば!!との無欲の勝利でした。

最近は練習環境にも恵まれて、亀の甲山TCの精鋭達に触発されながらの練習やテニスを通じて様々な出会いや体験が出来ております。だからテニスはやめられず、来年も大会に参加したいと思います。

（柏木 記）

〈男子55歳以上〉大門・柏木、新井・井田の各選手

男子60歳以上の部 優勝　気持ちを切らないよう“我慢・我慢”

飯沼哲也・垣原求（テニスプラザ戸塚・希望が丘TC）

ペアの飯沼さんとは、ペア歴「ZERO（0）」にて挑戦した本大会ですが、気持ちのこもった素晴らしい対戦相手のプレーに負けないように、コミュニケーションをよく取りながら、またお互い鼓舞しながら苦しい試合を勝つことができ、大変うれしく思います。

特に、準決勝と決勝の試合は、すごく長い試合時間になり、「苦しいのは対戦相手も同じ・・」と、思いながら自分を奮い立たせ「気持ちを切らないよう“我慢・我慢”」を最後まで続ける事ができたのは、ペアの強力なサポートと普段練習していただけるテニスクラブの仲間のおかげです、ありがとうございました。

最後に、本大会は試合当日の天候が良くない日が多く、雨風にゲームの実施を虐げられました。そんな中、円滑に大会を運営して頂いた大会関係者の皆さま、ありがとうございました。　（垣原 記）

〈男子60歳以上〉飯沼・垣原、萩原・門田の各選手

男子65歳以上の部 優勝　3度目の挑戦でついに優勝

細尾隆昭・西海武司（横浜スポーツマンクラブ）

初めに本大会を運営して下さった横浜市テニス協会の皆様に心から御礼申し上げます。

ペアの細尾さんとは60歳の部で2度決勝に進出しましたが、2度とも悔しい結果に終わり、今回3度目の挑戦でついに優勝でき、嬉しさ一杯です。これからもテニス好きとして、更に進化できるよう邁進していきます。

最後になりますが、いつも練習にお付き合いいただいている横浜スポーツマン

〈男子65歳以上〉細尾・西海、生井・宮崎の各選手

クラブの皆様に深く厚く感謝致します。

（西海 記）

「継続は力なり」っていう言葉はありますが、なかなかその結果を残すことは難しいことです。

西海さんとのペアで横浜市民の決勝戦は、60歳から3回目ですがやっとその結果を残すことができました。お互いのプレイスタイルが違うことを認識して、その長所を活かすことができたのではないかと思っています。

横浜スポーツマンクラブの皆様に鍛えてもらいながら、今後も成長していきたいと思っています。

（細尾 記）

男子70歳以上の部 優勝

テニスの仲間と勝利の女神に感謝

紀野政明・福田文夫（在住）

決勝は昨年初戦で対戦し完敗を喫した第1シードのペアでした。1セット目は相手を意識した力み過ぎによりあっという間に0–5なり、ここでペアと相談、何とか1ゲームでも取って2セット目に繋げようと意思確認し合い1ゲームを取ることができました。

2セット目は声を掛け合い自分たちのペースに持ち込み何とか先行することができました。ファイナルのタイブレークでは昨年の屈辱を晴らしたいという強い気持ちと意地そして家族や大勢のテニス仲間や応援の力も借りて集中力を高めポイント先行を続けることができ勝利を勝ち取れた気がします。試合中いい形でポイントが取れると大きな声援や拍手が届きパートナーは少々照れながらも共に力に変えていたと思います。

最後に各種目で熱戦が続く中長期間にわたりスムーズな大会運営をいただいたスタッフ皆様にはいつもながら頭が下がります。本当にありがとうございました。

（紀野 記）

〈男子70歳以上〉紀野・福田、岡本・小林の各選手

男子75歳以上の部 優勝

優勝できてホッ

石田秀夫・増村正（横浜スポーツマンクラブ）

本大会を運営してくださった横浜市テニス協会の皆様に厚く御礼申し上げます。

本大会には、小生の方からペアの増村さんに参加依頼の申し込みをしました。増村さんは7年前に大腸癌の手術後、小生は4年前と3年前に心臓の不整脈手術後の状態でした。又今回大会期間中に膝の痛さや、関節の痛みに襲われ、後期高齢者の体調調整の難しさを痛感しました。優勝できてホッとしております。

普段から怪我をしないよう注意しながらテニスをやっています。これからも末永

〈男子75歳以上〉石田・増村、山崎・寺嶋の各選手

⦿一般男子⦿

3R / QF / SF / F

- 市川・笠原（とつかTC・在住）
- 榎本・土肥（金沢高校OBOG会・在住）
- 吉澤・長岐（Naturally Tennis・在勤（ながき鍼灸整骨院））
- 山澤・陳（とつかTC）
- 市瀬・市瀬（ラック港南台TG）
- 山本・廣澤（朝練会）
- 西渕・板津（とつかTC・在住）
- 鈴木・小林（ルネサンス天王町）
- 神谷・及川（在住・在勤（㈱リクルート））
- 松尾・土屋（GODAI白楽・GODAIスポーツアカデミー）
- 前田・高橋（在勤（メガロス神奈川））
- 四宮・中村（亀の甲山TC）
- 清水・山下（ウエスタンTC・ENEOS中研）
- 藤田・櫻井（とつかTC・金沢高校OBOG会）
- 川口・鎌田（てにんちゅ・とつかTC）
- 山本・高橋（在住・在勤）

3R: 64 62 / 61 64 / 63 61 / 76(6) 46 10-5 / 60 26 11-9 / 62 61 / 64 62 / 61 61

QF: 63 67(4) 14-12 / 64 26 12-10 / 61 61 / 16 64 10-4

SF: 64 60 / 64 67(4) 10-4

F: 75 61

優勝 神谷・及川（在住・在勤（㈱リクルート））

⦿男子35歳以上⦿

SF / F

- 藤田・伊瀬（メリオールTS）
- 鈴木・正木（ASP港南台TS）
- 加賀美・程島（ラック港南台TG）
- 日野・田ノ澤（希望が丘TC）

SF: 46 64 10-8 / 62 36 10-6

F: 64 75

優勝 鈴木・正木（在住）

⦿男子40歳以上⦿

QF / SF / F

- 奥田・阿部（在勤（㈱セサミ）・とつかTC）
- 田子島・小板（朝練会）
- 水野・粟畑（ケンウッドTC・JFE）
- 藤本・長島（HCKS・在住）
- 丹羽・彌永（club NetIn・在住）
- 横野・朏（在住・在住）
- 飯沼・森戸（橘TA）
- 池田・河村（希望が丘TC・ラック港南台TG）

QF: 26 64 10-5 / 62 64 / 61 63 / 63 63

SF: 46 60 10-8 / 62 61

F: 75 63

優勝 池田・河村（希望が丘TC ラック港南台TG）

⦿男子45歳以上⦿

QF / SF / F

- 池谷・板橋（ウエスタンTC）
- 水野・九里（在勤）
- 木村・中丸（在住・テニスプラザ戸塚）
- 続・山里（新横浜PHITC）
- 進藤・岡田（サリュートITS）
- 小山・鈴木（テニスプラザ戸塚）
- 和智・小林（メガロス綱島）
- 河西・阿久津（ポーチ・亀の甲山TC）

QF: 75 75 / 63 62 / 76(3) 62 / 63 62

SF: 76(4) 36 10-5 / WO

F: 75 57 10-8

優勝 水野・九里（在勤）

⦿男子50歳以上⦿

QF / SF / F

- 金本・徐（GODAI港北・Team Coke）
- 仙田・中本（在住）
- 尾崎・岡田（在住・在勤）
- 岡名・土橋（とつかTC・在住）
- 宇多・役川（Y's T.A.・Team YUKA）
- 宮・布川（TGレニックス）
- 山内・伊藤（HCKS）
- 佐藤・山野（在住）

QF: 64 61 / 75 76(6) / 64 62 / 60 60

SF: 67(5) 63 10-6 / 36 63 10-5

F: 61 62

優勝 仙田・中本（在住）

⦿男子55歳以上⦿

QF / SF / F

- 丸山・細川（亀の甲山TC）
- 佐々木・大槻（アレスマイスター）
- 大門・柏木（東急あざみ野TG・亀の甲山TC）
- 山下・大野（ワールドTC・金沢TS）
- 東出・嶋内（とつかTC・三菱重工横浜）
- 中田・須田（亀の甲山TC）
- 高田・松村（アレスマイスター）
- 新井・井田（アレスマイスター）

QF: 64 57 10-8 / 62 61 / 62 61 / 61 63

SF: 67(5) 61 10-8 / 62 62

F: 36 62 10-4

優勝 大門・柏木（東急あざみ野TG 亀の甲山TC）

⦿男子60歳以上⦿

QF / SF / F

- 荻野・中川（チームウインF）
- 石田・山本（在住・在住）
- 飯沼・垣原（テニスプラザ戸塚・希望が丘TC）
- 池上・武田（瀬谷グリーンTC・在住）
- 石田・星野（ワールドTC）
- 広野・河尻（夢見会）
- 中川・矢吹（TGレニックス）
- 萩原・門田（Vamos）

QF: 80 / 80 / 85 / 65Ret

SF: 75 64 / 60 64

F: 16 75 10-7

優勝 飯沼・垣原（テニスプラザ戸塚 希望が丘TC）

⦿男子65歳以上⦿

SF / F

- 生井・宮崎（日吉LTC）
- 児島・小野（亀の甲山TC）
- 細田・中村（TGレニックス）
- 細尾・西海（横浜スポーツマンクラブ）

SF: 63 67(1) 10-3 / 63 62

F: WO

優勝 細尾・西海（横浜スポーツマンクラブ）

⦿男子70歳以上⦿

SF / F

- 岡本・小林（サンブリッジTC本郷）
- 南波・光浪（JFE・ウエスト横浜TC）
- 紀野・福田（在住・在住）
- 桃井・東（テニスプラザ戸塚）

SF: 64 75 / 63 60

F: 16 75 10-5

優勝 紀野・福田（在住・在住）

⦿男子75歳以上⦿

SF / F

- 山崎・寺嶋（TGレニックス）
- 廣田・石川（YITC）
- 石田・増村（横浜スポーツマンクラブ）
- 田中・秋澤（TGレニックス・在住）

SF: 75 61 / 62 64

F: 61 75

優勝 石田・増村（横浜スポーツマンクラブ）

⦿男子80歳以上⦿

SF / F

- 有本・奥村（TGレニックス・横浜スポーツマンクラブ）
- 小林・柳井（在住・在住）
- 飯塚・古賀（横浜グリーンTC）
- 宮本・吉澤（在住・在住）

SF: 83 / 82

F: 63 36 10-7

優勝 飯塚・古賀（横浜グリーンTC）

いテニスライフを楽しんでいきたいと思っております。最後に、大会前に練習に付き合って頂いた横浜スポーツマンクラブの方々に感謝申し上げます。（石田 記）

男子80歳以上の部 優勝

YGTC仲間に感謝

飯塚晴匱・古賀明（横浜グリーンTC）

4回の雨天中止に見舞われた今回の大会だったが、運営関係者の皆様のご尽力により絶好のテニス日和の中で決勝戦を楽しめたことに心より感謝申し上げます。

勝因を振り返ってみると、①所属する「横浜グリーンTC」の仲間達から様々にアドバイスを頂戴し、また、ペアの弱点強化の克服に練習相手として気持ちよく協力してもらったこと、②10Ｐタイブレークでは5-7とリードされていたが、試合の流れを冷静に振り返り「決して諦めない」気持ちで臨み、５ポイントを連取して逆転できたこと、③応援に駆けつけてくれた仲間たちの声掛けや拍手が大きな力になったこと等が挙げられるかと思います。こうした歴史ある大会でプレーできた喜びを改めて心に刻み、これからも体調管理に留意し、仲間たちとテニスを楽しみたいと思います。

尚、飯塚氏は「優勝出来て冥途の土産が出来た」と喜んでいますが、私は、「次の土産」を目指して頑張る所存です。

（古賀 記）

〈男子80歳以上〉飯塚・古賀、有本・奥村の各選手

女子40歳以上の部 優勝

新たなる挑戦

井根渚・小林美幸（Naturally Tennis・TGレニックス）

始めに、今大会を開催運営して下さいました、横浜市テニス協会関係者の皆様に深く感謝お礼申し上げます。私にとって今大会、初の年齢別での挑戦となりましたが、優勝という素晴らしい結果で終える事が出来とても嬉しく思います。

天候に恵まれずコンディションが悪い中でも、お互いにめげる事なく話し合いながら楽しく試合を進める事が出来ました。

〈女子40歳以上〉井根・小林、高木・河村の各選手

ペアを組んでくれた美幸さんいつも「良いよ、良いよ」と嫌な顔せず、私を自由にプレーさせてくれ、更にフォローもありがとうございます。そして、いつも一緒に練習してくださる皆様方に感謝です。これからも日々精進していきたいと思いますので、皆様宜しくお願い致します。

（井根 記）

女子45歳以上の部 優勝

組み始めてから18年目

梅田真由美・松尾あゆみ（在住・瀬谷グリーン）

まず始めに、日程中ずっと天気が悪い中、予定通り大会が行える様、コート整備までして頂き滞りなく大会を運営して下さった横浜市テニス協会関係者各位の皆様に心より感謝申し上げます。

毎年プレッシャーが大きくかかるこの大会。今回も、今年で組み始めてから18年目になる松尾さんと、優勝できたことを本当に嬉しく思います。

18年も組んでいるので、今まで人生で起こる沢山の行事や、試練、いい時や悪い時とありましたが、いつでも2人で色々話し合い解決してきましたので、今回も大事な場面では、お互いを信じることが出来、それが勝利につながったのだと思います。

⊙一般女子⊙

QF　SF　F

石井・大津（在住・在住）
谷川・谷川（東急あざみ野TG・都岡TG）
後藤・鈴木（在住・在住）
小林・村田（在住・GODAI港北）
古川・長井（在勤（メガロス横浜天王町））
坂野・森野（在住・在住）
牧石・荒島（在勤・在勤）
串間・梶原（亀の甲山TC・三菱重工横浜）

QF：61 62／46 62 10-4／64 60／76(5) 62
SF：63 60／63 60
F：63 16 10-6

優勝　石井・大津（在住）

⊙女子40歳以上⊙

SF　F

高野・河村（在住・TIIDA）
井根・小林（Naturally Tennis・TGレニックス）
高木・河村（在住・GODAI白楽）
宮・新美（ポーチ・希望が丘TC）

SF：64 60／63 76(4)
F：63 62

優勝　井根・小林（Naturally Tennis TGレニックス）

⊙女子45歳以上⊙

QF　SF　F

梅田・松尾（在住・瀬谷グリーンTC）
平沼・下田（横浜スポーツマンクラブ・在住）
津田・石川（在勤（横浜市立大学付属病院）・在住）
土屋・藤崎（在住・teamWEST）
池谷・奥山（Vamos）
岩下・清家（Team Coke・TAS）
木次・渡邊（Vamos・在勤（GODAI港北））
寺田・村田（在住・Team Coke）

QF：80／85／82／81
SF：62 61／46 64 10-1
F：63 46 11-9

優勝　梅田・松尾（在住 瀬谷グリーンTC）

そして、雨の中でも応援に来て下さった生徒の皆様、メガロス神奈川のスタッフの皆様、いつも指導して下さるリーファTGスタッフの皆様と、一緒に練習を付き合ってくれる仲間達に感謝しつつ、今後も益々頑張っていきたいと思います。

（梅田 記）

〈女子45歳以上〉梅田・松尾、寺田・村田の各選手

女子50歳以上の部 優勝

集中力を切らさずに最後までプレイ

伊藤美恵子・小川恭子（ウッドテニス・下川井TC）

あいにくの天候が続く印象が残った今大会、役員の方々の協力のもと試合が出

⊙女子50歳以上⊙

QF　SF　F

横山・坂井（横浜グリーンTC・新横浜PHITC）
山内・武井（在住・在住）
村松・中田（在住・在住）
山川・宇多（IZUMI TC・Y's T.A）
真壁・馬庭（HCKS・GODAI港北）
芳垣・野澤（在住・Team Coke）
大竹・加藤（TAS・横浜スポーツマンクラブ）
伊藤・小川（ウッドテニス・下川井TC）

QF：85／86／86／82
SF：63 75／75 62
F：75 63

優勝　伊藤・小川（ウッドテニス 下川井TC）

⊙女子55歳以上⊙

QF　SF　F

信近・東方（下川井TC・KMG TS）
本間・宇藤（希望ヶ丘TC・テニスプラザ戸塚）
関・恩田（松原TC横浜・在住）
池本・竹中（在住・在住）
山村・三森（在勤・亀の甲山TC）
古川・金子（希望が丘TC）
氣賀澤・稲向（大塚TC・ラック港南台TG）
藤井・松田（teamWEST・在住）

QF：86／85／40Ret／82
SF：WO／63 75
F：62Ret

優勝　信近・東方（下川井TC KMG TS）

⊙女子60歳以上⊙

SF　F

石崎・十河（ユニークス本牧・teamWEST）
室橋・飯沼（テニスプラザ戸塚）
村上・島本（在住・在住）
大石・山内（テニスプラザ戸塚）

SF：61 61／63 60
F：75 62

優勝　大石・山内（テニスプラザ戸塚）

⊙女子65歳以上⊙

SF　F

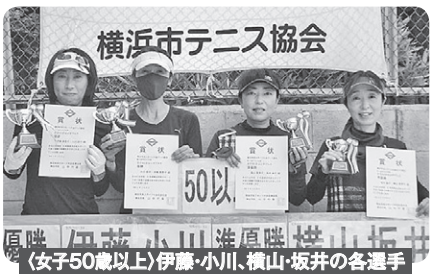
木村・畠山（松原TC横浜・ユニークス本牧）
柴田・大串（横浜スポーツマンクラブ）
岩崎・今野（松原TC横浜・在勤（日向内田商店））
宮原・鈴木（サンブリッジTC本郷・ヨコハマクラブ）

SF：WO／62 63
F：75 63

優勝　柴田・大串（横浜スポーツマンクラブ）

来る有り難さを感じました。感謝します。

途中何度か集中力が切れそうになったりもしましたが、ペアと相談して最後までプレイが出来た事を嬉しく思います。有難うございました。　（伊藤 記）



〈女子50歳以上〉伊藤・小川、横山・坂井の各選手

女子55歳以上の部 優勝　試合は“ためしあい”

信近三恵・東方真実子（下川井TC・KMG TS）

大会を運営して下さった横浜市テニス協会の皆様、本当にありがとうございました。

特に5月13日山手のコートでは、手作業の水取りが終わると雨が降り出すこと数回、それでも諦めずコート整備を続ける皆様の姿に心を打たれました。自分も決して諦めずに頑張ろうと思えた瞬間でした。

今年は第1シードを背負いましたが、どの試合を見ても決勝のような厳しい組み合わせ。「誰が優勝してもおかしくないな」と、かえって力が抜けました。また、パートナーからは「試合はためしあいと書くんだよ。思い切りやろうね」と魔法の言葉をもらい、大事な場面で練習通りの一打を試すことができ、試合を勝ち抜くことに繋がりました。

最後になりますが、いつも一緒に練習して下さる、下川井TC、KMG TS、相模原グリーンTCの皆様に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

（東方 記）

女子60歳以上の部 優勝　最後まで諦めずに楽しくできた結果

大石令子・山内文子（テニスプラザ戸塚）

先ず初めに、今大会を運営、開催して下さった横浜市テニス協会及び大会関係者各位に厚く御礼申し上げます。

山手公園テニスコートでは、雨の中を水取りまでして頂き、試合が続行できましたことに併せて感謝申し上げます。

初戦から厳しい試合の連続でした。時に強風の中、相手の鋭いショットに悩まされながらも、初めて組む山内さんを信じて、私は一球でも多くボールを返すことだけに集中できました。

決勝はテニスプラザ戸塚メンバー同士で、お互いに手の内を知っているだけに更に厳しい試合でしたが、二人で作戦を練りながら最後まで諦めずに楽しくできたことが、結果に繋がったと思います。

最後になりますが、応援に駆けつけて下さったクラブの皆様、日頃より練習にお付き合い戴いている仲間に感謝申し上げます。　（大石 記）

女子65歳以上の部 優勝　成長し続ける事ができる可能性を再認識

柴田元美・大串佳代（横浜スポーツマンクラブ）

はじめに、本大会を企画　運営してくださった横浜市テニス協会の皆様に深く感謝、御礼申し上げます。

初戦は、強風が吹き荒れる中での対戦相手との試合は、とても厳しく、3－6リードされ、球をコートの中にだけを考えました。

二回戦は、雨により中断を余儀なくされましたが、運営の皆様がコートの水をタオルで何回も拭きとる姿に頭が下がりました。

同じクラブで練習する機会も多いパートナー柴田さんに、感謝の意をのべたいと思います。話し合いながら自分らしいテニスを楽しくできる事を、常に二人で心がけ、優勝できた事は、大きな喜びであり、これからの励みにもなります。

体力的にも精神的にも、皆様の試合をみて、まだまだ成長し続ける事ができる可能性を再認識する事ができました。この素晴らしい大会に参加させていただきありがとうございました。　（大串 記）

〈女子55歳以上〉信近・東方、古川・金子の各選手

〈女子60歳以上〉大石・山内、室橋・飯沼の各選手

〈女子65歳以上〉柴田・大串、岩崎・今野の各選手

第18回春季シニアテニス教室

長浜公園テニスコートに於いて4月5日～5月30日（毎週火曜日）全8回実施致しました。　今年はコート修理も完了し安心してレッスンに臨むことが出来ました。参加者数は総数27名（男子21名・女子6名）と女子の参加数が少数ではありましたが各コートの大変良いムードメーカーで和やかな雰囲気を作って下さいました。

今年は4月から暑い日が多く体調管理をしながらのレッスンでした。テニス経験の長い方・短い方等様々ですがコーチのアドバイスに何かを見出しナイスショットを連発したりこだわりのコースへ決め球を打った時のドヤ顔等、其々皆さん楽しんでくださった様です。これを機に楽しいグループ作りのお手伝いが出来たら幸いです。

最後に参加して下さいました倉田・新井・中野・芳垣・鬼塚・鈴木・遠藤・杉本コーチの皆様に御礼申し上げます。　（入澤記）

第15回 横浜親子ダブルストーナメント

― 好天の中、親子の息の合った好試合 ―

8月6日（日）、8月12日（土）の2日間、小学生3年生以下から高校生以下までの10種目に117組が参加。

初日は本牧市民公園（小学生以下・中学男子）と長浜公園（中学生・高校生）で実施。2日目は12日（土）は長浜公園で実施し、全種目を終了することが出来ました。

コート上では家族の声援をうけて、暑さに負けず、親子の息の合った、好試合が行われました。第1回大会から継続している、協賛会社様提供（ペアテニス宿泊券、テニスグッズなど）の賞品抽選会と本牧市民公園コートでは、テニスレッスン（延べ60名以上参加）のイベントも盛況でした。

横浜開港150周年を機にスタートしたこの大会は今年で15回目。全国でも数少ない親子ダブルス大会を、家族ぐるみで楽しみにされている方も増えてきました。

少子化時代であるからこそ、これからもテニス発祥の地、横浜の名物イベントとして、継続して開催していきますので、親子の夏の思い出づくりに、ぜひ来年もたくさん参加していただきたいと思っています。

（親子ダブルス競技委員長　大村幸雄）

［小学3年生以下父親の部　優勝］

はじめてのダブルスの大会

石塚 良介・慶介（Ampersand Tennis Academy・在学（桐蔭学園小学校））

とても暑い中、今大会を開催してくださってありがとうございました。また対戦していただいた相手の方々に御礼申し上げます。

今回ぼくは、はじめてのダブルスの大会でした。緊張しましたが、試合で駆け引きができて、とても楽しかったです。ダブルスは、パートナーと協力して、一緒に戦えるところがうれしかったです。

決勝では2-2の時の0-40からキープできたことが大きかったです。来年も出場して優勝目指してがんばりたいです。ありがとうございました。

（慶介 記）

［小学3年生以下父親］石塚親子、五嶋親子の各選手

［小学3年生以下母親の部　優勝］

成長を感じました

加藤 裕美子・裕翔（在住）

夏の思い出作りに去年から出場しました。去年、私自身は高校時代ぶりの試合でしたが思いがけず決勝まで進むことができました。結果はタイブレーク5-7。息子は試合中、私がミスをするたび「何でとるの」「ダブルフォルトしないでよ」など苛々して悔しい思いをしていました。

試合後、私がどんな気持ちでいたか伝えました。来年は優勝することを目標にして今年の試合に臨みました。

SFではカウント1-3に広がった時に去年の様に文句を言われるんだろうなと思っていましたが「このゲームを取って僕のサーブでもゲームを取れば追いつくから大丈夫だよ」と言って励ましてくれました。

この1年でテニスの技術だけでなく精神面でも成長する息子の姿をみることができ、とても嬉しく思い、心温まる夏の思い出となりました。良い機会を与えていただき横浜市テニス協会のみなさまに感謝申し上げます。

（裕美子 記）

［小学3年生以下母親］加藤親子、立木親子の各選手

［小学6年生以下父親の部　優勝］

娘の成長のおかげ

岡 秀明・葵衣（在住）

横浜市テニス協会、並びに関係者の方々、楽しい大会の企画・運営ありがとうございました。子どもたちのハツラツとしたプレー、それに負けじと頑張るお父さんお母さんの姿に感銘を受けました。

小学生最後の年で意気込んでいたこともあり、優勝が決まった瞬間は素直に嬉しかったです。昨年逃した優勝をゲットできたのはまさに娘の成長のおかげです。

テニスのレベルアップに加え、度胸の据わった姿に成長を感じました。大好きなテニスを通して子どもの成長を肌で感じることができることが本大会の最大の魅力です。この魅力を多くの方が味わえるよう、大会を継続していただけたら幸いです。"親子ダブルスの主役は子どもです!"

（秀明 記）

この大会を運営してくださった皆様、ありがとうございました。昨年はベスト4止まりでしたが、今年は優勝できて嬉しかったです。

お父さんと協力して楽しくできました。来年は中学生の部で優勝できるように頑張ります!

（葵衣 記）

［小学6年生以下父親］岡親子、伊藤親子の各選手

［小学6年生以下母親の部　優勝］

メンタル

高野 陽子・礼信（在住）

始めに今大会を運営して下さった皆さま、ありがとうございました。

僕はお父さんに「精神修行のために試合に出てみたら」と言われ試合に出ました。僕はメンタルが弱いのです。なぜメンタルを鍛えるかというと、受験のためです。受験でメンタルが強いと、本領発揮できるからです。

最近少し強くなったと実感しつつあります。だから、今回も前回出た試合より緊張しなかったです。試合で学んだことは、追い詰められた時でも最後まで諦めないことです。これで優勝できました。いつも僕は諦めが早いので、これをできるだけ心がけています。僕はこの試合に出て、去年の僕よりメンタルが少し強くなったと思いました。

（礼信 記）

［小学6年生以下母親］高野親子、関親子の各選手

［中学生以下父親の部　優勝］

一生の思い出

三浦 央義・旺介（在住）

始めに今大会を運営頂いた横浜市テニス協会関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

連日の酷暑の中にも関わらず笑顔で大会運営頂き、無料のテニスクリニックや豪華賞品のあたる抽選等、イベントにも趣向が凝らされており、大会を通じて家族で楽しく参加する事が出来ました。

息子がテニスを本格的に始めて約6年、念願のペアを組んで初めての大会出場で優勝、息子の成長も感じる事が出来、一生の思い出となる大会となりました。

妻・娘も今大会に出場し、小学生高学年の部でベスト4と家族全員がテニスをするので、ペアリングを変えながら来年以降もまた楽しみながら参加させていただきたいと思います。

（央義 記）

［中学生以下男子］三浦親子、石川親子の各選手

［中学生以下母親の部　優勝］

ほぼ娘の力で優勝！？

小口 君枝・友梨（在住）

始めに今大会を開催、運営して下さった横浜市テニス協会の皆様に心より御礼申し上げます。

難しい年頃の娘とは上手くコミュニケーションをとれないことも多々ありますが、親子ダブルスという1つの目標に向かって一緒に取り組む時間はとても貴重で有意義なものでした。そして優勝できたことは私たち親子にとってかけがえのない

大切な思い出となりました。ありがとうございました。　（君枝 記）

あまり親子でダブルスの練習をする時間がなかった中でお互い連携してプレーができましたが、シングルスと違って声かけをしてプレーすることの大切さを改めて感じました。

今回の試合を通しての反省点、良かった点をこれからの練習や試合に活かしていきたいです。今回の試合は親子での良い思い出になりました。ありがとうございました。　（友梨 記）

［中学生以下女子］小口親子、志賀親子の各選手

［中学生以下混合の部　優勝］

娘の成長と感謝の気持

松下哲也・花凛（エヌプランニング・在住）

まずはじめに今大会を開催、暑い中運営して頂いた横浜市テニス協会関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

昨年娘は母親と出場して準優勝で悔しい思いをしており、今年は優勝したい気持ちが強く娘と一緒にダブルス練習をして試合に望みました。その甲斐あって親子のコンビネーションも良く終始笑顔で楽しく試合ができ、娘の成長も実感しながら優勝する事ができました。

私自身も横浜市民大会初めての優勝でダブルスを組んでくれた娘に感謝の気持ちでいっぱいです。一生の良い思い出となりました。

最後になりますが、一緒に練習をして頂いたアドバンスやグリーンテラステニス同好会の皆様、娘のテニスをここまで上達させて頂いたYSCやラック港南台のコーチの方々にも心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

（哲也 記）

［中学生以下混合］松下親子

［高校生以下男子の部　優勝］

Enjoy Tennis

京瀧 正司・亮一郎（在住）

横浜市テニス協会の皆様、本大会の開催と運営をいつも献身的に支えて頂き、誠に有難うございます。改めまして、この場をお借りして、感謝申し上げます。

親子ダブルスへの参加は、2018年の中学生の部以来、二度目となりました。コロナ禍に伴う大会中止や自身の転勤等が重なり、暫く参加を断念せざるを得ませんでしたが、今年の7月に横浜に戻り、高校生最後の年ということもあり、ファイナリストを目指し、週末を中心に練習に取り組んで参りました。

その努力が実を結び、決勝戦では序盤で劣勢に立たされましたが、最終的には粘り強さと"Enjoy Tennis"の精神で逆転し、優勝することが出来ました。高校生最後の夏を一緒に満喫出来たことは、何よりも嬉しく、格別の喜びでした。改めまして、皆様に心から感謝するとともに、今後もテニスへの情熱を持ち続け、横浜市民の一員として、市民大会に参加し続けたいと思っております。　（正司&亮一郎 記）

［高校生以下父親］京瀧親子、瀬戸親子の各選手

［高校生以下女子の部　優勝］

夏休みの大切な思い出の1日

松原佳寿子・美佳（一・在学）

初戦はMさんとの高校生対決。1ポイントも気を許すことのできない緊張した試合となりました。2試合目はジュニアで活躍し、大人顔負けのショットを持ったお嬢さん。お互い娘に喝を入れられつつも、お母様とは熱中症にならない様にと労わり合いながら楽しく試合ができました。

3試合目、親子でバランスのとれた穴の無いOさんには苦戦しました。最後の対戦はお母様がコーチ並みにお上手なIさん。ご自分のお嬢さんを盛り立てつつ、娘と沢山ライリーを繋いで良いショットを引き出してくださいました。自分もこんな素晴らしい選手になりたいと思わせてくれる方でした。炎天下、娘は全体で数十回あったデュースと2回のタイブレークによく耐えて、いざと言う時は積極的にポイントを決めてくれました。親子で試合に出るのが夢でしたので、夏休みの大切な思い出の1日となりました。横浜市テニス協会を始め、大会運営の方々、対戦相手の親子様に心より感謝申し上げます。　（佳寿子 記）

［高校生以下女子］松原親子、松岡親子の各選手

［高校生以下混合の部　優勝］

昨年は父親と今年は母親と優勝

小林 まゆみ・白（Naturally tennis）

父親が高校生の時から出場していたこともあって、横浜市民大会は小林家（特に父親）にとって他の大会とは違う、思い入れのある大会でした。

初めて出場した小学生大会で優勝することができた時も、一番喜んだのは父親でした。中学生大会はコロナ禍で大会中止になってしまいましたが、昨年は3年ぶりに開催された父親との親子ダブルス、今年は母と出場し、息子も小さい頃から市民大会を楽しませていただきました。

会場に行くとレフリーの方々が温かく迎えて下さるのが、本当にありがたかったです。父親と共に歩んできたテニス人生ですが、これからは"小林さんの息子"と言われないように、自分自身でもっと強くなりたいと意気込んでおりますので、二代に渡って温かく見守っていただけたら幸いです。

最後になりましたが、会長の日下さんを始め、横浜市テニス協会の役員の皆様、大会関係者のすべての皆様に感謝申し上げます。横浜市テニス協会の益々の発展をお祈りしています。

（まゆみ 記）

［高校生以下混合］小林親子、池松親子の各選手

⊙小学3年以下父親⊙

SF　F

石塚良介・慶介（Ampersand Tennis Academy・在学（桐蔭学園小学校））
仁平昌伸・統晴（在住）　61
五嶋和夫・速人（在住）
三澤栄一・茉子（在住）　60

62

★優　勝★
石塚良介・慶介（Ampersand Tennis Academy・在学（桐蔭学園小学校））

⊙小学6年以下父親⊙

SF　F

岡秀明・葵衣（在住）
井ノ口弘記・朋弥（在住）　63
伊藤俊介・藤元（横浜市役所テニス部・在住）
石川義晃・琴遥（在住）　60

63

★優　勝★
岡秀明・葵衣（在住）

⊙中学生以下男子⊙

SF　F

長谷川大輔・蓮（在住）
石川義晃・瑛稀（レニックスTS）　63
渡辺浩平・翔太（在住）
三浦央義・旺介（在住）　60

62

★優　勝★
三浦央義・旺介（在住）

⊙中学生以下混合⊙

SF　F

近藤泰之・令奈（在住）
赤木千夏・拓斗（在住）　76(3)
岡田秀俊・優菜（在住）
松下哲也・花凛（エヌプランニング・在住）　61

WO

★優　勝★
松下哲也・花凛（エヌプランニング・在住）

⊙高校生以下混合⊙

SF　F

小林まゆみ・白（naturally tennis）
小林秀樹・菜奈（在住）　60
池松頼子・里羽（在住）
佐藤秀樹・楓恵（在住）　63

76(1)

★優　勝★
小林まゆみ・白（在住）

⊙小学3年以下母親⊙

SF　F

立木加奈恵・楓夏（在住・ラック港南台TG）
安部多恵・海（ラック港南台TG）　60
野口和加奈・七海（ウッドテニス・ー）
加藤裕美子・裕翔（在住）　76(3)

63

★優　勝★
加藤裕美子・裕翔（在住）

⊙小学6年以下母親⊙

SF　F

加藤裕美子・遙希（YITC）
高野陽子・礼信（在住）　61
三浦早英子・和花（ウッドテニス・ー）
関亜矢子・夢真（在住）　63

64

★優　勝★
高野陽子・礼信（在住）

⊙中学・高校生以下女子⊙

	松原ペア	松岡ペア	小口ペア	池谷ペア	志賀ペア	順位
松原佳寿子・美佳（一・在学（横浜雙葉高等学校））		41 ○	34(6) ×	43(4) ○	41 ○	2 3勝1敗
松岡登紀子・花恋（在住）	14 ×		14 ×	42 ○	41 ○	3 2勝2敗
※ 小口君枝・友梨（在住）	43(6) ○	41 ○		41 ○	24 ×	1 3勝1敗
※ 池谷綾子・美希（Vamos・在住）	34(2) ×	24 ×	14 ×		24 ×	5 0勝4敗
※ 志賀かおり・真優香（一・在学）	14 ×	14 ×	42 ○	42 ○		4 2勝2敗

※中学生以下女子
※の中学生以下・女子の部の3ペアを高校生以下・女子の部に繰り上げしました。
対戦順:1-2、3-4、1-5、2-3、4-5、1-3、2-4、3-5、1-4、2-5 4ゲーム先取（3-3タイブレーク）高校生、中学生を合わせた勝数の上位から高校生、中学生のそれぞれの順位を決定します。

⊙高校生以下男子⊙

SF　F

瀬戸大・嵐（在住）
志村佳男・洸洋（在住）　61
京瀧正司・亮一郎（在住）
橋本進也・俊介（在住）　64

76(2)

★優　勝★
京瀧正司・亮一郎（在住）

第60回 横浜市団体テニストーナメント

第60回横浜市団体テニストーナメントは7月の2日から7月の30日まで開催し、幸い天候に恵まれスケジュール通りに日程を終了する事ができました。

今年は、一般男子35組、一般女子9組、シニア男子36組シニア女子16組、合計96組の参加でしたが、昨年に比べると5組少ないエントリーとなりました。

今までにない猛暑続きで、選手の体調が懸念されましたが、おかげさまで試合中に熱中症で搬送されるような事はなく、試合日程終了とともに心から安堵しました。

猛暑に対する大会中の対策としては、従来ベンチでの日傘使用は禁止となっていましたが、今年は特別措置として使用を認めました。それに加え、2面進行を多用して試合時間を短縮し、体力の消耗を防げるようにしました。

毎年のことながら、団体戦としての独特の熱気に包まれ試合を無事終了できたことを報告させていただきます。参加していただいた選手の皆様、ご協力いただいた理事の皆様、各団体の関係者の皆様、ありがとうございました。

（団体戦競技委員長　高杉絹子）

一般男子の部優勝：Naturally Tennis
5連覇に向けた4連覇達成

はじめに、本大会を運営していただきました横浜市テニス協会及び関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。

第60回横浜市団体テニストーナメントでは、Naturally Tennisとして4連覇目となりました。私達のチームは、テニスではもちろんですが普段から仲がいいのが特長であり、定期的にチームメイトだけでなくチームメイトの家族や友達と集まってテニスを楽しんでおります。横浜市の団体戦は年一回の集大成のようなもので、ある意味この大会の「連覇」向け、練習していると言っても過言ではありません。

今回悲願の4連覇を達成しましたが、表題でもあるとおり、これは5連覇に向けた4連覇に過ぎません。これからもNaturally Tennisでの連覇を更新できるようチーム一丸となって、おもしろおかしく、時には真剣に精進して参る所存です。

（永田 記）

一般女子の部優勝：ひよこ水曜日のシンデレラ（ダンロップTS根岸）
最高の栄冠

まず始めに、猛暑日が続く中、大会を運営をしてくださった横浜市テニス協会の関係者様、さらに長年にわたり練習コートをお貸し頂いているダンロップ根岸のスタッフの皆様に深く御礼申し上げます。

今大会はチーム全体が最後まで前向きにプレイすることが出来ました。一球でも多くラリーをつなげたいという個々の熱意が粘り強いプレイに繋がったのだと思います。横浜市という、大きな市で優勝出来たことは私達チームにとって、最高の栄冠です。大会は終わったばかりですが、さっそく来年に向けてチーム一同、より一層努力をし、連覇を目指します!

（チームキャプテン　牧石 記）

シニア男子の部優勝：私達ピンクのサウスポー今年だけよ!?（Team Coke）
ハマのレフティの絆を深めましょう!

酷暑の中、今年も運営頂きました協会役員の皆様ありがとうございました。

思い返すと、1年前鈴木賢治さんからこの企画を発案頂き、何か話題を提供できればくらいに思っていたのですが、知り合いのレフティを数えてみると想像以上に多くのレフティ猛者がいて、参加してもらえれば優勝も狙えると確信しました。とは言え、この猛者達は所属チームでも主力を担う選手ばかり、元チームの皆様、快く選手を出して頂きこの場をお借りして深謝申し上げます。

来年はそれぞれ古巣に戻り対戦することになりますが、いつかまた再集合したいなぁ～、「今年だけよ」って言っちゃったけど…団体戦は終わりましたが、このメンバーでの練習会は続けていこうと思います。「あれ? 呼ばれてないよ」と思われるハマのレフティの方、どうぞお気軽にお声掛け下さい。新たにレフティの絆を深めましょう!

（金本 記）

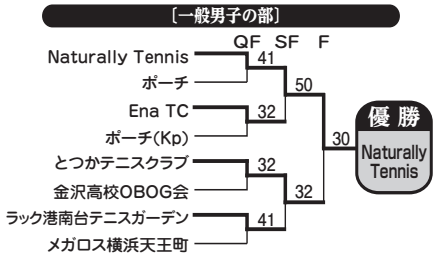
シニア女子の部優勝：アジュール（横浜スポーツマンクラブ）
初挑戦で初優勝!

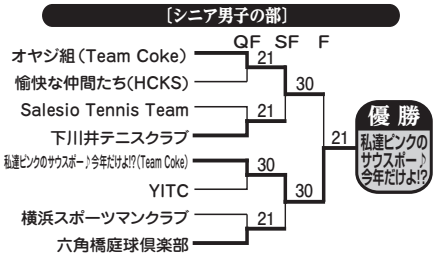
はじめに今大会を開催してくださった横浜市テニス協会様、酷暑のなか運営に携わられたスタッフの皆様に感謝申し上げます。

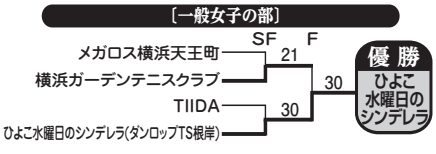
私たちアジュール（横浜スポーツマンクラブ）は一般の部を卒業(!?)し、シニアの部に挑戦しようとこのチームを編成しました。期待と不安が入り混じりながらの参戦でしたが、優勝することができ、大変嬉しく思っております。

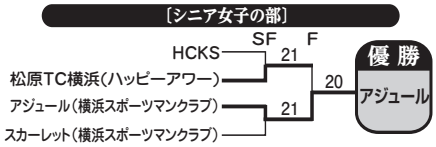
何度も話し合いを重ねて臨んだ試合。すべて厳しいものばかりでしたが、皆で心を合わせてプレーしました。日ごろ一緒に練習をして下さるクラブのメンバーの方々にも御礼申し上げます。

試合中に聞こえてきた応援の声も嬉しかったです。そして何より、快く送り出してくれた家族にも感謝したいと思います。今年の経験を活かして、今後も練習に励みたいと思います。どうもありがとうございました。









［一般男子の部準優勝］とつかテニスクラブ

［一般女子の部準優勝］横浜ガーデンテニスクラブ

［シニア男子の部準優勝］オヤジ組（Team Coke）

［シニア女子の部準優勝］ハッピーアワー（松原TC横浜）

第19回 都市交流スポーツ神戸大会

優勝：京都市　2位：名古屋市　3位：横浜市　4位：神戸市　5位：大阪市

今年は神戸が会場で6月24日と25日に開催されました。2年連続初戦は神戸市との対戦になりましたが、一般男女のシングル・ダブルスが完勝し5−2と勝利を勝ち取りました。

ドロー会議の結果初日は1試合でしたが、2日目は3試合とかなりハードな戦いになり、敵は太陽と自分自身という我慢の展開になりました。

2戦目は大阪市。一般選手に実業団選手を多く起用する強敵でしたが、昨日に引き続き5−2と快勝しました。3戦目は昨今力をつけている名古屋市。ここは手も足も出ず1−6と完敗でしたが、一般女子の山本選手が奮起しチームとして1つ勝ち星を挙げてくれました。

最終戦は全勝中の京都市。1番疲労がたまる最後に全勝の京都戦と非常に厳し状況でしたが各選手奮起し、特に55歳以上の柏木・大門ペアはタイブレーク10−8と接戦を勝ち取りました。ただ、あと1歩届かず結果は3−4と惜敗。

最終順位は、1位京都市、2位名古屋市、3位横浜市、4位神戸市、5位大阪市になりました。昨年優勝の大阪市がまさかの0勝4敗で最下位になるなど、どの都市も最後までどこが優勝するのか予測ができないほど僅差の戦いでした。

連日猛暑の中、横浜市代表選手の皆さんは灼熱のコートの中で素晴しいパフォーマンスを発揮してくれました。また久しぶりに懇親会も行われ、大村理事長より横浜市100周年のお話もしていただきました。都市間交流に関しては中止の話がある中、各都市なくしたくない想いが強くテニス競技としては継続していくことを基本に、開催都市が音頭をとっていくことになりました。予定では来年の開催地は京都市になります。どういった形での大会なるか分かりませんが、来年こそ優勝杯を横浜に持ち帰りたいと思います。　（横浜市監督　岡崎崇徳）

参加選手・監督マネージャー

[監　　督] 岡崎 崇徳(リコー)
[マネージャー] 石崎 勇太(GODAI)
[一 般 男 子] 小林 宰、神谷 涼太、及川 生来
[一 般 女 子] 山本 理佳、石井 真由美、大津 麻友
[男子45歳以上] 九里 孝之、水野 光太郎
[女子45歳以上] 梅田 真由美、松尾 あゆみ
[男子55歳以上] 柏木 昇一、大門 保幸
（引率:大村 幸雄　理事長）

	神 戸 市	名古屋市	京 都 市	横 浜 市	大 阪 市	対戦成績	順　位
神 戸 市		2-5	2-5	2-5	5-2	1勝3敗	4
名古屋市	5-2		2-5	6-1	6-1	3勝1敗	2
京 都 市	5-2	5-2		4-3	6-1	4勝0敗	1
横 浜 市	5-2	1-6	3-4		5-2	2勝2敗	3
大 阪 市	2-5	1-6	1-6	2-5		0勝4敗	5

ジュニア競技力向上事業テニス合同・強化練習会

ジュニア競技力向上事業テニス合同・強化練習会は、（公財）横浜市スポーツ協会主催で毎年夏休み期間中に実施しています。練習会の運営を手伝っている横浜市テニス協会も次世代を担うジュニアの育成には、精力的に取り組んでいます。

今年度の練習会は、7月22日から合計6日間で小学生から高校生まで計62名（延べ285名）の選手に参加していただきました。コーチには、元デ杯選手の田辺正特別コーチを筆頭に、リコー実業団チームの現役選手やテニスクラブコーチ等、横浜市トップクラスの方にご協力いただきました。

参加したジュニアの皆さんは、何かを学んで帰ろうと猛暑の中、集中して一生懸命ボールを追いかけていました。この練習会の経験を今後の試合や技術力の向上に活かしていただければ幸いです。練習会に参加した選手はもとより保護者の皆様にも感謝のお言葉をいただき大変うれしく思います。

参加いただいた選手の皆さん、大変お疲れ様でした。また、お忙しいところ選手の指導にあたっていただいたコーチの皆様、本当にありがとうございました。来年も皆様のご参加をお待ちしています。

2023年度 第46回全日本都市対抗テニス大会

（SAGA2024国民スポーツ大会 テニス競技 リハーサル大会）

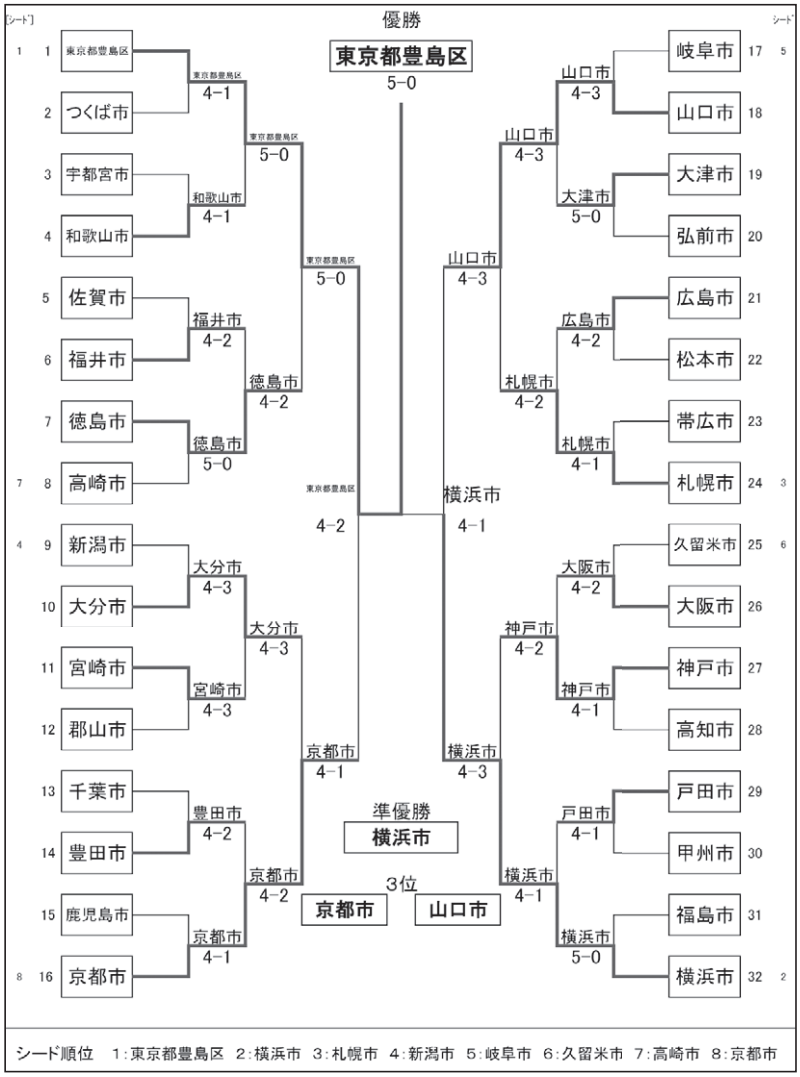
昨年の都市対抗は全国大会が開催されない異例の年となりましたが、今年は7月21日から23日で佐賀県佐賀市にあるＳＡＧＡサンライズパークテニスフィールドにて開催されました。

第2シードとドロー的には戦いやすく、2年前に大会準決勝で敗れた東京都豊島区は第1シードと雪辱を晴らすためには決勝戦まで行かなければならず、大会前から各選手気持ちが高ぶっていました。

初戦は福島市に5－0と快勝し、翌日2回戦は同じ関東の戸田市（埼玉）と対戦。接戦が予想されたが4－1と第2シードの貫禄を見せつける展開となった。

準々決勝は強敵神戸市。3－2リードの展開から3－3に追いつかれ一般男子シングルスに勝敗がかかったが、小林選手が勝ち切り4－3と接戦をものにした。最終日は準決勝・決勝戦となる。

準決勝は強豪都市を撃破し勝ち上がってきた山口市でしたが、4－1と快勝し決勝へ駒を進めた。



決勝戦はついに、東京豊島区とのリベンジマッチとなった。ここで優勝杯を勝ち取り100周年に花を添えたかったが、結果は0－5。1勝も挙げれなかったが、5種目とも接戦の末の敗退と何かあれば逆の結果の可能性も大いにあったと感じる（石崎マネージャー談）。

また会場には日下会長も応援に駆け付けていただき、毎試合「絶対勝つぞ！」と檄を飛ばしていただきました。チーム横浜として会長・マネージャー・各選手一同一丸となることで厳しい戦いを制し決勝戦まで進めたと、まさにチーム力の結果であったと思います。

来年は滋賀県で全国都市対抗を開催予定です。

まずは県4連覇を果たし全国優勝を狙います。

（横浜市監督 岡崎崇徳）

参加選手・監督マネージャー

[監　　督] 岡崎 崇徳(リコー)
[マネージャー] 石崎 勇太(GODAI)
[一 般 男 子] 喜多 元明(リコー)
小林 雅哉(リコー)
[一 般 女 子] 髙橋 玲奈(リコー)
原口 沙絵(リコー)
大橋 麗美華(慶應大学)
[男子45歳以上] 岡崎 崇徳(リコー)
長田 直樹(ウッドテニス)
[女子45歳以上] 梅田 真由美(リーファTG)
大山 弘子(藤沢市補強選手)
[男子55歳以上] 高塚 浩文(テニスプラザ戸塚)
田中 久敬(AGC庭球クラブ)

（引率:日下 啓二　会長）

テニススクール実施中

（公財）横浜市体育協会主催のテニス教室新横浜テニスコートで実施。
コートサーフェスはＵＳオープンで使用されていたデコターフです。
詳しくは当協会のホームページをご参照下さい

新テニスプレーヤーのためのスポーツ医学❷

テニスにおける肩の障害と予防
～サーブの質を高める打ち方がある!?～

横浜スポーツ医会所属医師 吉田医院 吉田 徳

テニスのケガ、特に上肢のケガは急性のものでは慢性のものが多いとされています。

今回はサーブ、スマッシュという必須の技術で使う肩、一般及びベテラン世代でも多い肩の障害について取り上げたいと思います。また、後半は上級者プレーヤーへは釈迦に説法ではありますが、運動連鎖を意識したサービスフォームで無理なく力を伝えられるサービスフォーム、けがの予防についても取り上げたいと思います。

肩のケガ発生率

テニスのケガは下肢が多く（30～60%）、次いで上肢（20～50%）、体幹（3～21%）と言われています。
上肢のケガは突発的なものではなく慢性的なものが多く、文献によると肩のケガはおよそ4～17%です。

プロテニス選手では、肩のケガは男女ともに戦列を離れる２番目の原因となっています。有名な選手ではマリア・シャラポワ、錦織圭選手。右肩のケガで長期離脱しました。最近ではボルナ・チョリッチ選手（クロアチア）が2021年に右肩の手術を行い、2022年にカムバック賞を受賞しています。

肩のケガあれこれ

国際テニス連盟（ITF）はSLAP lesion（※1）、インピンジメント症候群（※2）。男子プロテニス（ATP）は 肩腱板損傷、インピンジメント症候群を肩のケガとして挙げています。

これ以外では、肩関節不安定症、関節唇損傷、肩関節内旋制限、無症候性上腕骨近位骨端線異常、第1肋骨疲労骨折などが報告されています。テニス肘ほど有名ではありませんが、「テニス肩」と呼ばれる状態があります。肩甲骨の下垂位・突出・下方回旋が認められ、肩峰下腔の狭小化が起こることにより、上腕骨が肩甲骨に対し外転位となり肩甲上腕関節障害、側弯や胸郭出口症候群の発生要因になり得る状態です。

このようなケガの要因は、肩甲骨の機能低下や肩関節内旋制限に関連した運動連鎖の変化によって起こると考えられています。テニスにおいては投球障害（サーブやスマッシュのようなオーバーヘッド動作は投球動作とメカニズムが共通している点が多いです）と同様に運動機能改善を行うことが望ましいです。

※1 SLAP lesion

肩関節窩の上方部分には上腕二頭筋長頭腱が付着していて、投球動作によって引っ張られた関節唇が少しずつ剥がれていきます。関節窩から関節唇が剥がれた疾患をSLAP lesionと言います。

※2 インピンジメント症候群

投球肩障害の一種で、インピンジメントというのは、『衝突』という意味です。肩関節を動かす際に、関節付近で他の骨や筋肉、滑液包との衝突が生じることによって、組織の損傷が起こって痛みが生じる状態です。最もインピンジメントを起こしやすいのは、上腕骨大結節と肩峰の間です。

肩関節可動域と左右差

肩関節可動域の左右差は、肩外転90°における肩内旋可動域の左右差はトッププロを除き、ジュニア、成人、一般レベルにおいても利き手側が非利き手側に比べ減少していると報告されています。平たく言うと利き手側の可動域が狭いということです。

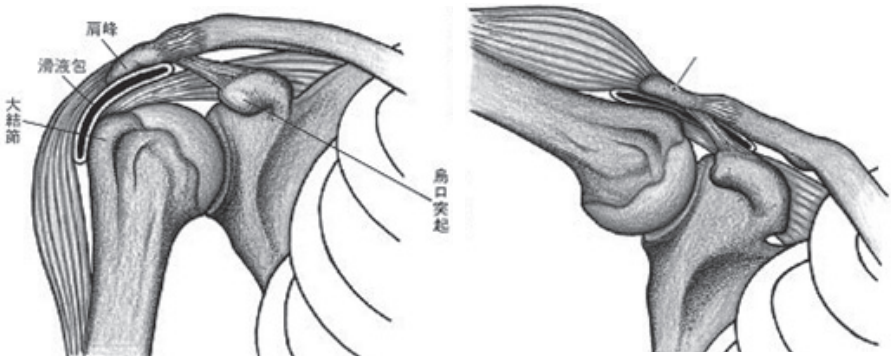
利き手側の肩関節内旋可動域は３時間の試合で20°減少したという報告や試合後24時間経過しても改善しない、試合前に比べ有意に減少しているなどの報告から競技時間経過に応じて可動域が減少し改善を認めにくい可能性があると考えられています。こういった可動域低下はケガにつながるため、可動域の左右差を障害発生予防の観点から注意する必要があります。自らの利き手側肩関節可動域を測定してみてはどうでしょうか。

（次ページの参考図2肩関節の可動域の評価・用語解説を参照）

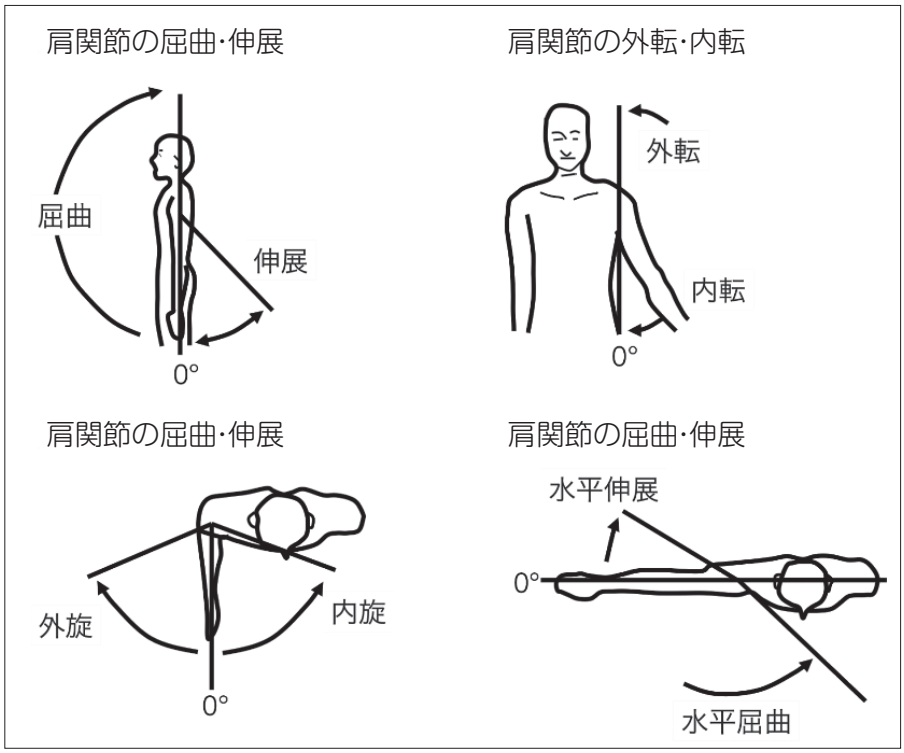
隣り合う関節と肩のケガとの関連性

肩のケガとの関連としては股関節、肘関節の痛みが運動制限、動作不良に関与しているという報告があります。

肩が痛い、という訴えが肩だけに原因があるわけではないのです。外来で投球肩障害にて来院される中学生が股関節の柔軟性や胸郭の柔軟性をトレーニングした結果、疼痛が消失した症例には多く出会います。



参考図1　正常肩（左）とインピンジメントを起こした肩（右）



参考図2　肩関節の可動域の評価･用語解説

臨床における肩の診察・診断

実際の臨床現場ではどのようなチェックをしているのでしょうか。

下記は肩関節痛（テニスをプレーする、投球系スポーツをする場合）で整形外科を受診した際に行う大まかな流れです。

①どのような痛みか（鈍痛？鋭い痛み？違和感程度？自らの言葉で表現していただいてOKです）
②どのような動きで痛みが出るのか
③これまでの受診歴、通院歴
④テニス歴（運動歴）
⑤利き腕（フォアハンド/バックハンド/両手か片手打ちか）
⑥グリップサイズ（適正かどうか）、野球の場合はボールの握り方をチェックします
⑦ガットのテンション
⑧試合頻度や練習内容

特にサーブは上半身に頼ったサーブの場合、肩への負担が2割近く増すという報告もあるため、直近でのサーブ練習が負荷を強いるフォームで多くの時間費やされたときに痛める原因となります。

診察では肩を含めた全身評価（肩関節以外の評価です）を行います。

各種画像検査は臨床学的所見を経て行います。全例MRI必須と言うわけではありませんが、得られる情報量が多いため、競技レベルによっては撮影必須かもしれません。

治療、今後のプランニング

治療へのプランニングは、テニスの技術的問題と医学的問題にわけて考えます。

1）テニスの技術的問題

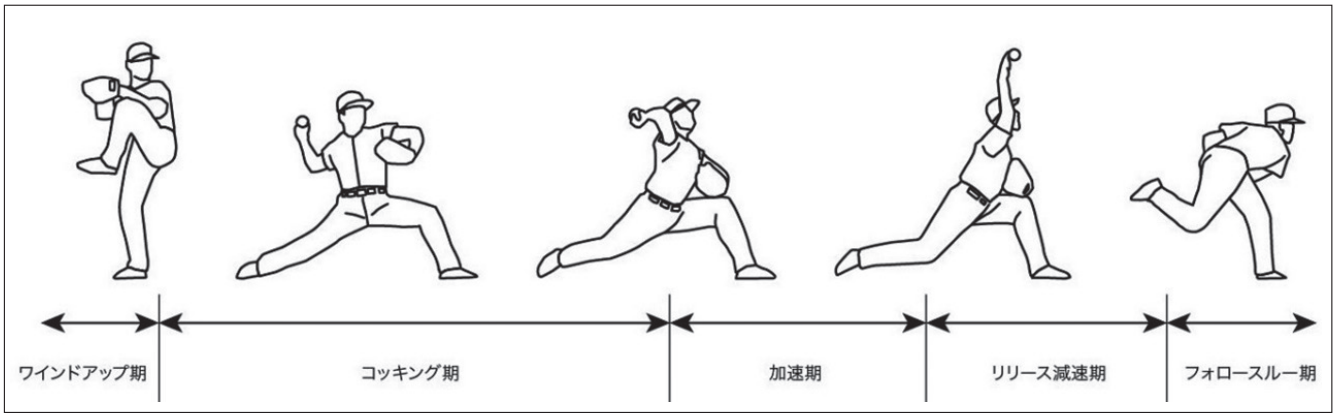
技術的な問題については、可能であればフォームを撮影した動画を持参されて来院することが望ましいです。ただ、動画をお持ちになる場合はほとんどないので、初診以降に話を詰めていくことが多いです。

また、テニススクールに通われている方、プライベートレッスン等でコーチがついていらっしゃる場合は、コーチからの技術指導も必須と考えます。

医師目線での肩を痛めにくいサービスフォームチェックポイントを挙げておきます（職業コーチの方たちとの視点の違いを色々と拝聴したいところです）。

投球肩障害に共通部分が多いので投球フェーズを参考に、トッププロの連続写真と照らし合わせてみると良いと思います。自分でこれができていればサーブで苦労しないのですが（トッププロの連続写真を並行掲載するとよりわかりやすいのですが、版権の問題で載せられません、残念）。

①コッキング期の肘位置（トロフィーポーズ時の肘位置）
②リリース期（ボールをヒット、インパクト時）の身体の側屈具合、前方への突っ込み具合と肘位置
③膝を使えているかどうか（上半身に頼りすぎていないか、下半身との連動性）
④コッキング期からリリース期における身体の開き
⑤リリースからフォロースルー時に前腕の無理な回内はないか（特にスピンサーブを打つときに掌を無理に外に向けていないか）
⑥インパクト面での肘の過伸展の有無



参考図3　サーブと共通部分が多いので投球フェーズ参考図

2) 医学的問題点

①関節可動域制限（筋力不足、筋疲労の蓄積、柔軟性低下）がある
②競技の障害歴がある、障害を治療せずに放置している
③オーバーユース（肩関節の使いすぎ）
④オーバーワーク（他関節障害があるにもかかわらず、それをかばうが故の障害）
⑤関節不安定性の存在

治療法は手術しない治療を第一選択とします。その場合には診断にもよりますが、肩腱板や肩甲骨周囲の筋力、安定性や肩関節周囲の協調性を戻すことが大事です。

治療のプランニングはその人によって違うので、これをやれば治る！という万人に効く魔法はありません。医師選びはテニス（スポーツ）に理解がある先生、理学療法士が在籍しているクリニックや病院を選ぶと良いと思います。接骨院については在籍している先生がテニスに理解がある、もしくはトレーナー歴、トレーナーとしての選手への帯同歴がある方が良いと思います。

今はHPやSNSで情報発信の時代ですので、かかる前に検索すると良いでしょう。

予防、サーブの質がアップする打ち方？！

ケガの予防は肩甲上腕関節と肩甲骨周囲の柔軟性、協調性を意識することです。

肩関節周りの大きな可動域を使ったフォームが肩・肘関節周囲の障害リスクを減らすとされています。

今はメジャーリーグに移籍しましたが元広島東洋カープの前田健太投手のマエケン体操。非常に理にかなっています。肩甲上腕関節、肩甲骨周囲の柔軟性獲得、上肢の脱力、運動連鎖の要がつまっています（興味のある方は動画でご確認ください）。

また、運動連鎖を考えたサーブの質がアップするアドバイスがあります。

①「打点に顔を残す」（トニー・ローチ氏）
②「サーブのインパクト面におでこを向ける」（小浦猛志氏）

トニー・ローチ氏は自身も名選手でしたがロジャー・フェデラーをコーチした際にこのコメントを残しています。
小浦猛志氏も同様に名選手で、伊達公子さんが全幅の信頼をおいているコーチとしても有名です。

小浦氏は運動連鎖からテニスを多角的に解析されていらっしゃいます。「打点に顔を残す」これは「顔の向きと腕や体幹の動きの方向が逆」ということです。

右利きのサーブの場合、トスを上げた時は、顎は左肩に近い→左腕は伸びたい→右腕は曲がりたい。

ボールを打つ時には、顎は右肩に近い→左腕は曲がりたい→右腕は伸びたい。

というように、すべてが入れ替わります。このことを「頚反射」を利用した動きと言います。

頚反射は身体の姿勢や平衡保持のための反射の一つで、頭部を回転すると反射的に四肢に現れる筋緊張の変化をいいます。顔を右に向けると右手と右脚が伸びやすくなります。即ち、腕と脚の押し込む動作で力が出しやすいという事になります。

これを加味すると、良いサーブを打つときには前額部（おでこ）の向きを意識する必要があります。

おでこの方向はインパクト方向、上半身は打球方向に対して横。

首を左に傾けながら顎を上げ、おでこをインパクト方向に向けると頚反射を利用することで自然とトスが前に、さらに肩の傾きもできて、スムーズな腕の振りが生まれます。

トッププロのサービスフォームにおける写真を見てみてください（トスアップ、トロフィーポーズ時に要注目）。いずれも首が左に傾き、おでこはインパクト方面に向いています。

上級プレーヤー、職業コーチの方には釈迦に説法ですが、首の動きと「おでこ」の向きを意識してみると今のサーブの質を変えるカギになるのではないでしょうか。

〔参考文献〕

1 挿絵「図で説く整形外科疾患－外来診療のヒント」
寺山 和雄、堀尾 重治著 医学書院
2 日本整形外科学会関節可動域測定法より改変
3 https://www.zamst.jp/tetsujin/shoulder/baseball-shoulder/より引用

第74回横浜市実業団対抗テニス

男子優勝：横浜市役所C（5回目）、女子優勝：神奈川県庁A（10回目）

【第74回横浜市実業団対抗テニス大会の成績】

（各部の優勝チームのみ記載）

●令和5年3月～6月　参加64チーム（男55＋女9）
●令和5年度運営事務局：三菱重工横浜

男子優勝:横浜市役所C、準優勝:ニッパツ・ローン・テニスクラブ、第3位:野村総合研究所B

《男子優勝(部別)》	
1部：横浜市役所C	4A：東芝横浜B
2A：日立ソリューションズB	4B：野村総合研究所C
2B：AGC中研B	5A－B：レノボTC
3A：ボッシュA	5C－D：加賀FEI
3B：神奈川県庁ひまわり	

今年の3月から6月にかけて第74回大会を開催し、1部リーグにおいて、男子：横浜市役所C（5回目）、女子：神奈川県庁A（10回度目）が優勝しました。

第75回大会は8月13日から12月初旬までの予定で開催しており、69チームが市営公園や事業所などのコートで、上位を目指し、熱い戦いを繰り広げています。

女子優勝:神奈川県庁A、準優勝:NECソリューションイノベータ、第3位:日立戸塚

《女子優勝(部別)》	
1部：神奈川県庁A	2部：野村総合研究所

★大会の結果については協会ホームページに詳しく掲示されています。

横浜市テニス協会の100周年記念事業のお知らせとお願い

横浜市テニス協会は1922年（大正11年）に設立されて以来、各種大会運営をはじめテニス教室等、様々な活動を行い横浜のテニス普及・発展に努めて参りました。昨年の2022年（令和4年）に、めでたく創立100周年を迎えることとなり、記念式典等の開催を予定していましたが、コロナ禍の影響で開催を1年延期することとし、今年の11月19日に開催致します。

100周年記念式典の開催

横浜のテニスの普及・発展に貢献された方々をはじめ、協会活動に尽力された方々や優秀選手、加盟団体の代表者の方々、テニス関係団体の方々等にお集まり頂き、協会活動100年の歴史を振り返り、更なる今後の発展を目指していきます。加盟団体の皆様には、記念誌の発行に関して各団体の紹介記事の寄稿を頂くと伴に、広告掲載のご協力も頂き大変感謝致しております。

記念式典では上部団体代表者をはじめ、テニス界のレジェンドの方々にもご出席頂く予定ですので、加盟団体の皆様も是非多くの皆様にご出席を頂き、皆さんで100周年をお祝い致したいと思います。

記念式典開催のお知らせについては、近日中に関係者の皆様にお送り致しますのでよろしくお願い致します。

- **開催日：令和5年11月19日（日）**
- **場　所：横浜ベイホテル東急**

［連絡先］ 横浜市テニス協会　事務局（原則　月・水・金　9:30～16:30）
横浜市中区翁町1-5-5 関内スクエアビル 306号 TEL.045-663-0557　FAX.045-663-0558　E-mail　info@yokohama-tennis.jp

協会インフォメーション

ホームページのご案内

★テニスに関する各種の情報を始め、大会の実施案内や日程等をお知らせするためにウエブページを開設しています。
https://yokohama-tennis.jp/

令和5年度新規加盟団体紹介（1団体）

中外製薬

横浜市テニス協会加盟団体内訳（令和4年8月31日現在）

営業クラブ（スクール含む）	62団体
実業団	42団体
同好会	34団体
その他	4団体
合　計	142団体